

# おれんじの屋根

## 施設長より

新型コロナウイルスが国内に入り、まる2年が経過しましたが、元旦にはゼロだった県内の新規感染者数が1ヶ月もしないうちに千人を超える第6波が到来。依然、コロナ禍での生活が続いています。

そんな中、しょうぶの里では、新型コロナウイルスでもインフルエンザでもないけれど、新年早々から約1ヶ月間、利用者さん20人以上と職員数人に、次々と咳や鼻水、発熱等の風邪の症状が出ました。オミクロン株の症状は、発熱や咳など、風邪の症状に非常に似ているので、風邪とは思いつつもオミクロン株の疑いを捨てきれず、その都度、外来受診でPCR検査を受けて陰性を確認することが続きました。なかなか収まらないため、集団での活動を停止して、3週間以上、利用者さんには個室で過ごしていただき、食事も個室で取ってもらうなどして、2月はじめによく落ち着きました。これも一つの“クラスター”と言えるでしょうか。

病気の人への対応や食事提供等で、支援員も厨房の職員も大変でしたが、それ以上に、利用者さんは、個室で過ごす生活で、さぞかし退屈で我慢の3週間だったはず。にもかかわらず、ほとんどの人は、驚くほど協力的に個室で過ごしてくださいました。

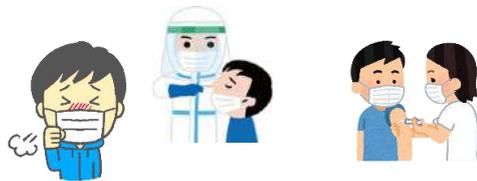
## 「1月に“風邪のクラスター”発生」

ニュースによると、オミクロン株による第6波は2月上旬にピークを越えたとのことですが、県内でも、依然として毎日800~900人の新規感染者が出る高止まりの状況が続いています。なのに、人間というものはどんなに大変な状況が起きても、段々とそれに慣れっこになってしまうところがあるようです。以前ならば、50人を超えた、大変だ！100人を超えた、300人を超えたと、大騒ぎしていたのに、連日千人を超える日が続くと、500人や600人が少なく感じてしまいます。数字に慣れっこになってしまっただけではないと気を引き締めています。

この第6波では、県内でもしょうぶの里と同じような障害者支援施設3ヶ所でクラスターが発生し、また、職員の家族に陽性者が出たり、職員の子どものクラスで陽性者が出た、あるいはグループホーム入居者が通う事業所で陽性者が出たなどで、念のための自宅待機をしてもらうことも多くなっています。いよいよすぐ近くまで感染が来ているようで、しょうぶの里でも、いつ感染者が出てもおかしくない状況になっています。

頼みの利用者さんや職員への3回目のワクチン接種は3月上旬の予定で、免疫抗体ができるまではまだ1ヶ月ほどあり、少なくともそれまでは、気持ちを引き締めて感染防止対策に努めなければならないと思っています。

日増しに春の色が濃くなって来ていますが、第6波の収束が待ち遠しいところです。



## 書き遊ぶ

## 「物の居場所」

ゆうゆう会会長の瀬上です。家族会行事はもうしばらく停止します。ご了承ください。

高齢になると、よくあれはどこに行ったのだろうと探し回ります。原因は二つ。一つは当然脳の老化によりどこに置いたか忘れたため。もう一つはモノの置き場が決まってないか、またそこに置かなかったからです。几帳面な人はそれぞれの物の指定の置き場所を決めていて、あるべきところにあるべきものがないと落ち着けません。逆に全く気にならない人は空いている場所に次々と物を置くし、それが積み重ねだしたら最悪です。

時々テレビで部屋の片づけ特集をしていますが、本人にとってはどれも思い出のある大事なものなので、どうしても捨てたり売ったりできないのでしょう。片付け作業は脳にとっても負担のかかる重労働なのです。日頃から一年経過しても使わなかったものは処分して、次の新しい物のために居場所を作ってあげましょう。棚や壁に、目に見えるように並べて置くと使い勝手もアップします。次第にコタツの周りがリモコンやボールペン・薬・チラシなどに占領され始めると、それは老化の始まり！ご用心、ご用心。



# 抗原検査の様子

熊本市からの要請により、職員の抗原検査を2月に入ってから毎週行っています。スワブを使って鼻の奥の粘膜を採取する方法のため、自分ではなかなかうまくいかず、看護師職員の手を借り、無事全職員の検査が終了しました。



今年もこの季節がやってきました！

しょうぶの里でも2月14日に女性利用者さんから、男性利用者さんと男性職員へバレンタインのお菓子のプレゼントを頂きました。

女性からのプレゼントはいくつになってもうれしいもので、男性利用者さんも男性職員もニコニコ😊顔でした。

来月はホワイトデーです。男性利用者さん・男性職員、よろしくお願ひしますね！

皆さんでお菓子の袋を制作中です

この中にお菓子が入ってます(^.^)



## 給食室より

### 3月 イベントメニュー

- 3月 3日 ひなまつりメニュー
- 3月 11日 リクエストメニュー、誕生会
- 3月 25日 お花見弁当
- 3月 28日 リクエストメニュー
- 3月 31日 年度終わりの会茶話会



## しらたたまちゃん

この季節になるとしらた玉ねぎ(しらたたまちゃん)を店頭で見かけます。辛みが少なくしらたに最適、もちろん肉などと一緒に火を通すととても甘くなる優れたものです。

玉ねぎは白色の多肉部に強烈な刺激臭があって、その形が扁球(球形)なことからタマ木ねぎと言われていますが、その母国はパルシアです。すでに紀元前3000年頃には古代エジプトで栽培されていたようです。

日本に伝わったのは明治になってからで、札幌で栽培されたものが東京で販売されました。

栄養士 齋藤憲子

## 医務室より

### 水虫対策...今です!!

まだまだ寒く、風邪をひきやすい季節ですが、水虫の治療には最適です。

#### 《水虫の正体》

一般に水虫の原因菌の正式名称は皮膚糸状菌(ひふしじょうきん)、別名白癬菌(はくせんきん)というカビです。

#### 《足水虫の症状》

足の水虫の症状で代表的なものは足裏の水膨れです。水膨れが破れると皮膚が裂けてかゆみがでてきます。

#### 《冬場の水虫菌》

水虫菌は寒くなると増殖が止まるため菌が減る傾向にあります。そのためかゆみや水膨れの症状も少なくなります。

つまり水虫の原因である白癬菌の数が減っているうちに、しっかりと治療を行えば効果的に水虫を治すことができます。

しかし簡単に治る病気ではありません。根気強く、継続的に治療することが大切です。



看護師 齋藤

### 《3月の行事予定》

- ☆ 1日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 2日(水) 774種接種(職員)
- ☆ 3日(木) 訪問歯科
- ☆ 4日(金) 774種接種(利用者)
- ☆ 7日(月) 職員会議、給食委員会、774種接種(職員)
- ☆ 8日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 9日(水) 774種接種(職員)
- ☆ 10日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(金) 誕生会
- ☆ 14日(月) ホワイトデー、774種接種(職員)
- ☆ 15日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 17日(木) 訪問歯科
- ☆ 22日(火) 研修会
- ☆ 24日(木) 訪問歯科
- ☆ 25日(金) 千金甲お花見会
- ☆ 31日(木) 年度終わりの会

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

### ～編集後記～

そろそろ花粉飛散の季節です。数年前からこの時期になると目のかゆみ、くしゃみ、鼻水とおそらく花粉症なのかなあと... (認めたくはないのですが...)。しかしこの花粉症の症状が、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の症状と酷似しているとのこと。見分け方として一般的に言われているのがくしゃみ・鼻水に加えて発熱、倦怠感がある場合は新型コロナウイルス感染症の疑い、くしゃみ、鼻水に目のかゆみがある場合は花粉症であることが多いとのこと。気を付けましょう！

### ～～第58号～～

令和4年2月25日発行  
発行元 しょうぶの里  
熊本市西区小島9丁目14-58  
Tel (096) 311-4588

